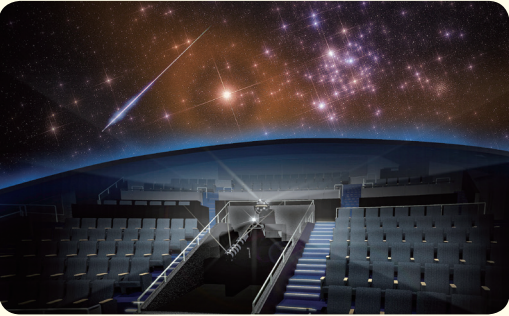


「天文にゆかりのあるまち・倉敷」
倉敷科学センターのプラネタリウムがリニューアル!

生涯で彗星12個・新星11個を発見した、世界的なアマチュア天文家で名誉市民の本田貴さん、本田さんが活動の拠点とした日本初の民間天文台である倉敷天文台、そして中国地方最大級を誇る、倉敷科学センターのプラネタリウムと、倉敷は、天文にゆかりのあるまちです。

1993年に開館して以来、延べ150万人が利用したプラネタリウムは、この度全面的な改修工事を終え、3月27日、世界最高水準の設備に生まれ変わります。

映し出す星の数は、従来機の4千倍となる約1億個! 最新鋭光学式プラネタリウムと超高精細10K解像度のパノラマ映像技術との融合で、実際に星を眺めているような臨場感が味わえます。



歴史と文学のまち、真備
 奈良時代の偉人「吉備真備公」ゆかりの地であり、作家・横溝正史が、名探偵「金田一耕助」を生み出したまち。

果物と花のまち、船穂
 温暖な気候と、高梁川の豊かな水を生かし、マスカットやスイートビーなどの栽培が盛んなまち。

大原美術館
 倉敷の実業家・大原孫三郎が、洋画家・児島虎次郎に託して収集した、西洋美術などを展示する日本初の私立西洋美術館。

倉敷美観地区
 天領として栄えた時代の風情と美しい景観を色濃く残すまち。

国産ジーンズ発祥の地、児島
 足袋・学生服・作業服と、繊維のまちとして発展し、日本で初めてジーンズを国産化しました。全国のジーンズファンからの注目を集めています。

水島コンビナート
 瀬戸内海に臨む、約2500haの空間に、250を超える事業所が立地する水島コンビナート。美しく光る夜景は「夜景100選」にも選ばれています。

レトロな港町、玉島
 備中の玄関として栄えた港町で、今でも当時の商家や土蔵が残っています。昭和レトロな商店街など、ノスタルジックな町並み散歩も楽しめます。



クラシキ文華新聞 Vol.16
 平成31年3月吉日発行
 【編集・発行】
 クラシキ文華新聞編集部
 (倉敷市くらしき情報発信課内)
 〒710-8565
 岡山県倉敷市西中田 640
 TEL086-426-3061
 FAX086-426-4095
 pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

WEBもチェック! /
クラシキ文華
<http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>
 クラシキ文華 検索

倉敷市公式 Facebook
<https://www.facebook.com/KurashikiCity>
 倉敷市公式 Instagram
https://www.instagram.com/kurashiki_city/

編集後記
 平成30年7月豪雨から9カ月が経ちます。倉敷市では、平成31年度を復興元年と位置付け、復興に向け取り組んでまいります。5月には平成が終わり、新しい時代が始まります。引き継がれたものを大切にしながら、新しいものにアップデートしていく倉敷。ぜひ、元氣な倉敷の姿をご覧ください。(安藤・村上)

クラシキ文華新聞

Vol. 16

第16号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化「クラシキ文華」が華開いています。平成30年7月、未曾有の豪雨災害が倉敷市を襲いました。全国の皆さまからのご支援を受け、復興に取り組む倉敷市の元氣な姿と、「クラシキ文華」の魅力をお伝えする「クラシキ文華新聞」第16号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



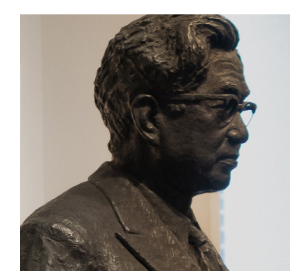
倉敷市伝統美観
 保存条例制定から50年

想いが守り
 伝える
 町並み

江戸幕府の直轄地、いわゆる「天領」であり、物資の集積地として繁栄した倉敷。豪商たちが集まり、塗屋造りの屋敷や土蔵造りの蔵が連なる「白壁のまち」が形成されていきました。往時の町並みを今に伝える倉敷美観地区は、重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区)にも選定。連日多くの観光客が訪れています。

「倉敷美観地区は観光地であると同時に、住人の暮らしの場でもあります」。そう話すのは、「倉敷伝建地区をまもり育てる会」の会長・大賀紀美子さん。会は、先人が築いた豊かな伝統と文化にあふれるまちを、住民の手で守り次の世代へ引き継ぐため、平成18(2006)年に発足。みやげもの店・飲食店などの業者も含め、ほぼ全世帯の住民が参加し、主体的にまちづくりに関わっています。

倉敷の町並み保存を最初に提唱したのは、大原美術館の創設者・大原孫三郎の長男である総一郎氏。総一郎氏は昭和13(1938)年ドイツ外遊中に、中世の町並みが広がるローデンプルクを訪れました。まちの歴史を日常生活に生かし暮らすローデンプルクの人々の姿勢に大きな感動を覚えた総一郎氏は、「倉敷を日本のローデンプルクにしよう」、そう理念を掲げ、町並み保存の必要性を訴えたといひます。



▲大原総一郎像



▲現在のローデンプルクの町並み

町並み保存の序章は、戦後まもない昭和 21 (1946) 年。総一郎氏の招き入れにより、民藝運動の父とも呼ばれる柳宗悦氏の指導で、岡山県民藝協会が設立されたことから始まります。昭和 23 (1948) 年に同協会の外村吉之介氏が、倉敷の蔵造りの町家や蔵を「観光風致地区」に指定するよう全国へ紹介。同年には町家を活用した初めての施設「倉敷民藝館」を開館し、民藝という視点から町並みの保存を訴えました。

昭和 24 (1949) 年には、外村氏ら地元の有識者によって「倉敷都市美協会」が結成され、伝統的民家群の保存活動を開始。地域住民による町並み保存運動団体は全国でも初めてのことでした。その翌年にはイギリスの詩人エドモンド・ブランデンが倉敷民藝館の情景の美しさを詠み、昭和 29 (1954) 年にアサヒ写真ブック「倉敷うちと」が町並みを全国に紹介。多くの著名人や建築家らがその美しさと重要性を広め、町並みに対する住民の意識が徐々に醸成されていきました。



町並み保全の取り組みは行政に拡大し、倉敷市は昭和 43 (1968) 年に、国の伝統的建築物群保存の動きに先行して「倉敷市伝統美観保存条例」を公布。条例上で初めて「美観地区」と表現されたのもこの年でした。さらに昭和 54 (1979) 年には、国選定の重伝建地区の選定を受け、平成 2 (1990) 年には、倉敷美観地区の周りに建つ建築物の高さを制限する「背景保全条例」を全国に先駆けて制定。これらの条例が公布されたのは、高度成長期やバブル期の真っただ中。無秩序な建築ラッシュを条例によって抑制し、今の倉敷の町並みが守られてきたのです。

「倉敷美観地区には江戸時代の建物だけでなく、明治、大正、昭和と時代時代の建物が保存されています。これは各地にある伝建地区の中でも、特異な例です」。そう話す大賀さんの言葉通り、赤レンガの紡績工場跡を複合施設として再生した「倉敷アイビースクエア」(明治 22 年築) あり、倉敷川沿いでは珍しい木造洋風建築の「倉敷館」(大正 6 年築) あり、西洋建築が印象的な「大原美術館」(昭和 5 年築) ありと、様々な時代の建物が混在・調和し、独特のムードを作り出しているのを感じます。

「ただ守るだけではなく、培ってきた伝統を生かし、新しいまちを育てる必要がある。総一郎さんはそうおっしゃっていました。倉敷の町並みを見るたびに、その言葉が思い出されます」。その精神は「倉敷伝建地区をまもり育てる会」にもしっかりと息づいています。たとえば、倉敷美観地区の景観に深く関わりのあることでいえば、「電線類地中化」や「美観地区夜間景観照明」。これらは行政抜きでは実現できませんが、行政主導のまちづくりではなく、住民一人一人が主体性を持って町並みを守り・育てていくため、「倉敷伝建地区をまもり育てる会」内での話し合いはもちろん、行政とも何度も意見を重ね、そこに暮らす住民の立場からまちづくりに積極的に関わることで、自分たちの本来の町並みを取り戻したのです。

「今年は条例が公布されて 50 周年にあたります。この条例によって伝統的な美観が守られ、重伝建地区選定へと発展し、私たちの暮らしの場が日本を代表する町並み・倉敷美観地区として確立されました。倉敷美観地区はもともと住民が作り上げた地域です。重伝建地区は歴史的な町並みに美を見出し、それを守り育てる場ですが、この地に建つ個々の建物が本物の美しさを保つことこそ、美観の高さが維持されると思うんです。私たち住民の一人一人が日常生活を営みながら、地域を保全し、育てていくことが、何より大切なのではないかと思います」。全国の観光客を惹きつけてやまない倉敷美観地区。住民の手で作り、守り、育てるというまちづくり精神は、これからも受け継がれていくに違いありません。



▲1月13日に開催された「真備町復興 竹のまちフェア」。真備地区の特産品・タケノコが入った大判焼きやコロッケ、真備おこわなどが売られ、多くの来場者で賑わった。

▼1月23日、市は真備地区の子育て環境を充実させるため、「真備地区子育てcafe」を開催。子育て支援団体・自治体などの40人がグループに分かれ、課題解決に向け話し合った。



まび復興ニュース



◀真備地区の特産品・タケノコの出荷が始まった2月下旬、JA岡山西マキビ選果場には、真備産生組合の皆さんが朝収穫したばかりのタケノコが、次々と運び込まれた。

▼3月、被災した事業者への支援策として整備した「復興商店街」。薬局など5つの事業者が入居し、順次事業活動を再開する。



クラシキのイベント

いすが壊れるか？己が壊れるか？
いす - 1 GP 岡山水島大会 2019

キャスター付きの事務椅子で路上を激走する耐久レース「いす - 1 GP (グランプリ)」が、今年も倉敷市水島の商店街で開催されます！

事務椅子に座ったまま、後ろ向きで地面を蹴って進むレースで、1チーム3人が交代しながら、1周約 200 m のコースを2時間で何周走れるかを競います。

岡山水島大会は例年、全国各地で開催される「いす - 1 GP」シリーズの開幕戦であり、全国最大規模の大会でもあります。昨年は、県内外から 72 チームが参戦。115 周を走った「木津川運輸」(京都府) が、過酷なレースを制し2連覇を達成しました。今年は、どのチームが勝利の美酒を味わうのでしょうか!?

□日時…5月11日(土) 10 時～
□場所…水島栄町商店街



イベント	日程	場所	内容
せんいのまち児島フェスティバル	4月27日(土)・28日(日) 9時～17時	JR児島駅周辺、児島ジーンズストリート周辺など	「メイドイン児島」にこだわった質の高い繊維製品を格安で買える即売テントや、下津井たこの「たこ飯」をはじめとするグルメテントなど盛りだくさん！倉敷市最大級の動員数を誇るビッグイベント
くらしき藤物語～ハートランド倉敷	5月2日(休)～5月6日(休)	倉敷美観地区など	市花である「ふじ」をテーマにした、倉敷のGWを彩る一大イベント。白壁のまちを舞台に、藤棚や藤の行灯、くらしき藤娘川舟流しなど、様々な「ふじ」で倉敷の歴史・文化の魅力を活かしたおもてなし

イベント情報は、[f](https://www.facebook.com/KurashikiCity)倉敷市公式 Facebook (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています！